

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	あらかわプラス竜王教室（児発）		
○保護者評価実施期間	R8年3月2日		～ R8年3月13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 4名
○従業者評価実施期間	R8年3月2日		～ R8年3月6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 3名
○事業者向け自己評価表作成日	R8年3月16日		
○分析結果			
	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	体操特化型であること、リトミック有資格者が在籍していること。	日頃から子どもの発達や課題について向き合いながら、体操、リトミックなどを通し、支援する体制づくりを意識している。	引き続き、アンテナを高くしながら、より良い療育に向けて研鑽していく。
2	職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保し、意欲的に参加している。	積極的に研修を受けながら、職員間での情報共有を意識している。	引き続き、職員の資質向上に向けて、情報共有を意識していく。
3	職員間のコミュニケーションを積極的に図りながら、情報共有をしている。	子どもの発達や課題について、情報共有する姿勢を意識している。	子どもの発達や課題についてのみならず、保護者支援についても職員間での情報共有を大切にしている。
	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	昨年立ち上げたばかりのため、現在知名度が低い。	準備期間が少ない中、立ち上げに至った経緯がある。	インスタ、リタリコなどを使いながら、発信していく。
2	職員間での打ち合わせや振り返りの時間確保。	職員配置の課題による自発と放デイの両立の難しさ。	来年度より放デイサービスが停止となり、送迎業務などが緩和になるため、打ち合わせや振り返りの時間確保を意識的に行っていく。
3	保護者同士の連携支援について。	保護者同士の連携支援まで立ち行かないのが現状であった。	保護者会等を開催できるような体制づくりを考えていく。